

羅臼町議会だより

しれとこ



最高齢のうに漁師、菅原 利次氏（79歳）

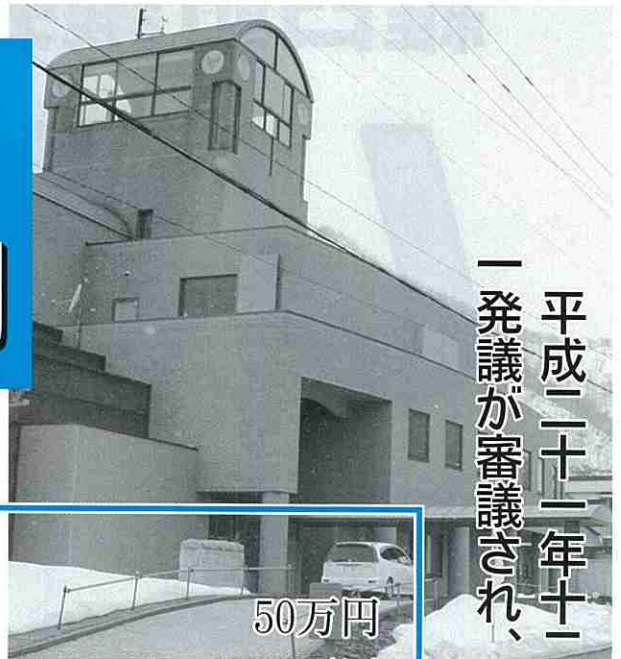
平成22年

第125号

2月10日

第4回定例議会・臨時会	2～3
一般質問	4～7
決算認定	8～9
委員会サロン	10～11
議会の動き・編集を終えて	12

定例議会 額38億9,396万円



平成二十二年十二月十七日、第四回定例議会が行われ、八議案、七認定、一発議が審議され、全て原案通り可決しました。

一般会計

知床・羅臼まちづくり基金積立金	50万円
防災行政無線管理に要する経費	589万円
老人福祉に要する経費	2,925万円
ひとり親家庭等医療費助成事業に要する経費	69万円
子育て応援特別手当支給に要する経費	△651万円
予防接種に要する経費	494万円
知床らうす交流センター管理運営に要する経費	2,200万円
計	5,676万円



行政報告

* 国保診療所の運営について

平成二十一年九月二十九日以降、特別医療法人「即仁会」北広島病院と行ってきた、医師派遣契約を平成二十二年度も引き続き、短期医師派遣を継続できる運びとなった。

十二月三日、羅臼町国保診療所設計プロポーザル選定審査終了、「サン設計事務所」（札幌市）に対し「基本設計」を発注。

* 小規模多機能型居宅介護事業所の整備について
* 温泉ボーリング事業について

人事案件

◆ 教育委員の任命について



田中 紅美子

任期 平成二十二年一月二十五日から
平成二十六年一月二十四日まで

平成21年 第4回 一般会計5,676万円追加 総

国保診療所特別会計

国保診療所特別会計	1,054万円を追加し	総額 3億2,226万円
診療所施設管理運営に要する経費		142万円
医療業務に要する経費		912万円
計		1,054万円



- ・学校等における児童生徒等の情報活用能力育成のため
ノート型パソコン 五十二台
中央コンピュターサービス株式会社 七八九万円
- ・学校等における児童生徒等の情報活用能力育成のため
学校用テレビ 四十八台
有限会社サウンドハウスエービック 一、一五二万円

財産の取得について

第四回臨時会

- ・羅臼町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例制定について
- ・職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について

議員発議

羅臼町が非核平和の町を
宣言することを求める決議

世界の平和と幸福は、人類共通の願いであります。私たち羅臼町民は、美しい自然を絶やすことなく郷土の豊かな文化を守り、世界自然遺産の町として、平和と安全な未来を子供たちに引き継ぐことが、私たちの責任と義務であると考えます。

私たちは、世界の平和と安全、人類の幸福を願い、世界で唯一の被爆国の国民として核兵器廃絶、非核三原則の堅持、恒久平和の実現を願い、明るく住みよい幸せな町民生活を守る決意を表明するものとして、羅臼町が非核平和の町を宣言することを求めます。

以上、決議します。

定例議会

質

問

4名、6件の質問が提出され、町長の考えを問いました

障がい者の経済的負担軽減のため支払い方法を「償還払い方式」から「受領委任払い方式」へ制度変更せよ

坂本 志郎 議員

障がい者自立支援法の日常生活用具給付事業や、介護保険の高額介護サービス、国保の治療用器具購入費などについて、その支払いは原則として「償還払い方式」とされています。

償還払い方式とは、例えば介護保険サービスでの住宅改修、手すりや段差解消などの工事を行った時、二十万円までを対象に費用の九割が支給され、戻ることにはなっていますが、利用者はいったん、全額を業者に支払いその後市町村に請求して数ヶ月後に支払いを受けるという方式です。

この償還払い方式は、一

度に全額を支払う利用者負担が生じることや、業者への支払いの遅れも危惧されます。

ただし、法律では原則償還払いとなっていますから羅臼町の現行償還払いの運用はまちがってはいません。

しかし、市町村の判断で利用者の代わりに業者が九割、あるいは限度額を超える部分を自治体に請求する代理受領、すなわち「受領委任払い方式」もできるとされています。

ぜひ羅臼町も利用者の経済的負担軽減のために現行のいったん全額を支払わなければならない償還払い方式から、一割から三割の自己負担分で済む受領委任払い方式へ制度変更すべきである。

町長

町民負担の軽減を考慮し規則等の整備を図りながら制度変更を実施する

当町ではこれまで償還払い方式を取っており利用者がいったん全額を支払い、その後本人からの請求行為により、保険適用分について町より支払う形をとっています。管内三町の状況を確認したところ、他の町も同じ方法（償還払い方式）をとっているが、今後、他自治体の取扱い状況も確認しながら町民負担の軽減を考慮し、規則等の整備を図りながら実施の方向で検討する。

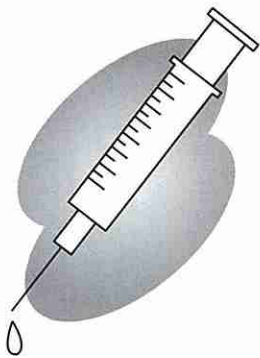
乳幼児・高齢者の感染症予防ワクチン接種を予防医療の柱と位置付け計画化せよ

坂本 志郎 議員

羅臼町には三〇七名の乳幼児がいますが、乳幼児対象の細菌性髄膜炎予防にヒブワクチンが有効とされています。

しかし、日本では任意接種のため四回接種で三万円もかかります。このヒブワクチンの接種実績は当町ではゼロです。公費助成がなければ接種は拡大しないと思います。又、高齢者対象の肺炎球菌予防ワクチンは高齢者死亡原因、肺炎を予防することができます。

町として乳幼児・高齢者にこれらの病氣予防の周知を徹底し、そして公費補助を含め接種を計画化すべきである。





平成21年12月17日

一 般

町長

予防接種については、法で義務付けられているもの他、任意のワクチンが開発されており、対象者には各検診時や子育て相談などの折にワクチンについての説明を行っている。

経済的負担軽減対策については、予防医療の推進対策として十分理解をしているが、当町の財政状況もあり困難と考える。

固定医の確保を してほしい

山下 崧議員

自治体病院は地域住民の生命と健康を守ることを使命としているが、管内状況を見ても当町だけが特に医師が不足している。現在固定医一人で頑張っているが、大きな負担になっている。住民福利厚生のために、二人目の医師を早急に確保してほしい。見通しについて考
え方を伺いたい。

町長

これ迄医師招へいに努力をして来ましたが、常勤医の招へいに至っていない。結果、町民には大変な不安とご不便、ご負担をかけ申し訳なく思っています。厳しい医療環境で北広島病院から短期派遣が確定しました。

常勤医二人体制実現に向

け医師招へい環境作りの為に、診療所建設実現を図りたい。

窮地に陥った原因 をどのように認識 していますか

山下 崧議員

病院から診療所へ転換したが、目指す方向が決まらず住民に不安と閉塞感をなくす為に行政は何をしようとしているのか、最大の問題はガバナンス問題であり、窮地に陥った原因をどう認識しているかお聞きしたい。

町長

医療ビジョンの今後については医療・保健・福祉連携による地域包括ケア推進を目指し医療の安定と考える。診療所の入院再開時は、三名の常勤医が必要とされる。当面は常勤医二名体制を目指し、福祉施設と連携

を図り、福祉施設の整備として「地域密着型特別養護老人ホーム」の設置は「民設民営」を視野に整備していきたい。

山下 崧議員

この町の医療が窮地に陥った原因をふまえ運営改革についてどう考えるか。

町長

病院から診療所への転換に伴い、人員削減など図りました。経営アドバイザー等のアドバイスを取り入れながら経費の削減を図ってきましたが、更なる経費の削減に努めていきたい。



中高一貫教育と羅白高校の今後について

湊屋 稔 議員

現在、進めております中高一貫教育と羅白高校の今後の見通しについて以下の四点について教育長のお考えをお聞きます。

一点目は、各中学校と羅白高校の一貫教育が始まって二年が経ちましたが、チーム・ティーチングなどの連携の現状と課題をお聞かせください。

二点目は、北海道教育委員会が発表している「二〇〇九北海道の新しい高校づくり」のなかで高校の再配置計画が発表されていますが、羅白高校の見通しはどのようになっておりますか。三点目は、地域性を活かした専門学科の新設や総合学科や普通科フィールド制の導入などを行い特色ある

羅白高校づくりの取り組みについてのお考えはありますか。

四点目は、中学校統合に伴う新校舎建設と羅白高校との連携（併設など）についてのお考えをお聞かせください。

教育長

地域学習を通じ、夢や希望の実現に向けた取り組みを積極的に支援してまいります

一点目のチーム・ティーチングの現状でありますが「教科部会」「総合学習部会」「特別活動部会」と三つの部会活動の中で推進しているところであり

「教科部会」においては、理科以外が相互乗り入れ授業において課題が整理されていない部分があります。「総合学習部会」は知床や羅白の自然環境について

理解を深めているところであり

「特別活動部会」は担当職員、生徒同士が清掃ボランティアや部活動交流による集団行動や基礎技術の向上などは望ましい推進形態となっています。

二点目の配置計画に係る羅白高校の今後の見通しについては、平成二十四年度とその後四年間の中では生徒の極端な減少が認められておりませんので、高校への進学率が概ね七十五%で推移しますと、平成二十五



年と二十九年が四十名を下回る以外はいずれの年も二学級編成で現状での推移になるものと見込んでおります。

三点目の特色ある羅白高校づくりについては、多様化する生徒の興味・関心・進路希望等に応じながら、地域性を活かし、ひとりひとりの夢や希望の実現に向けた選択肢を充実させている現在の取り組みを積極的に支援してまいりたいと考えております。

四点目については連携型の中高一貫教育をより充実させるためには、羅白高校と併設した校舎の建設は理想的であります。羅白高校は建設後三十年を経過しており、平成十二年には大規模改修をすることから当分の間、改築は困難と思われませんが、設置者の異なる学校の併設が可能かどうかの研究をする必要があるものと考えます。平成二十二年度中には関



医療と福祉の連携について

高島 讓二 議員

係者により中学校統合に向け協議の場を設定し、地理的な条件や適正な用地確保などの意見を尊重しながら進めてまいりたいと考えております。

① 先月十一月七日に開催された「二〇〇九地域医療フォーラム・イン羅白」において講演された岩手県藤

沢町民病院長、佐藤元美先生のお話について感想を伺います。

佐藤先生は十七年前から

医療、保健、福祉の連携を確立され、経営面においても医療と福祉全体で黒字経営をされているとの事であります。「医療から医療の前後を考える」つまり、急性期の医療だけではなく若い世代の予防医療から老後の在宅、或いは施設での福祉医療まで一体化した流れによって町内で町民が安心して過ごす事が出来るよう実践されております。

いわば地域医療のお手本であり、わが町の医療・福祉・保健の政策、加えて経営についても参考にしなければならぬと考えるが、どのように思われたのかお聞きします。

② 平成二十一年度行政執行方針の中でまちづくりの目標の最初に、いのちを守る「医療と福祉」の充実をめざす。と掲げていますが、

これらをどのように図り、充実させたのかお尋ねします。

町長

可能なところから進めていく

① 全国の地域医療の先進地として注目を集めている藤沢町民病院の佐藤先生のお話は、「地域で育む医療のあり方」として多くの示唆に富んだお話を聞かせていただけたと思っております。

羅臼町の医療ビジョンである「医療・保健・福祉の連携による地域包括ケアの推進」の実現に向け、可能なところから進めていく事が必要と認識を新たにしています。

② 羅臼町地域包括ケア支援センターを設置し、診療所所長をセンター長とし、保健師と准看護師を担当させ「予防活動」「在宅支援」「新たなサービスの構築」などを中心に実践する。

これまでに保健推進員さんを中心に「生活習慣病の予防」の事業、訪問診療の充実を図った。

現在、医師一名体制の中での活動だが、住民ニーズに応じたサービスの充実に向け、取り組む。

光ファイバーによるブロードバンドネットワーク導入について

高島 讓二 議員

本町でのインターネット通信網は既設の電話線を使用したADSL方式ですが、将来に向かって通信を活用した多様な用途を考えた場合、既設のものでは容量、スピード共に満足出来るものではありません。

日本の最北東端、辺境の地であり、また世界自然遺産「知床」を抱える本町は観光や海産物の販売促進等

町長

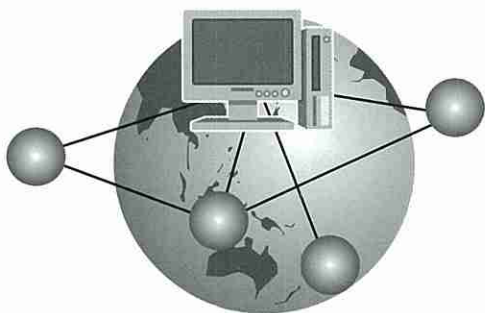
早期実現をめざし積極的に行う

の情報発信は不可欠であり今後、防災、教育分野、医療、福祉への活用など双方向での情報伝達の方法として大容量の高速通信が可能となるブロードバンドネットワークの構築が必要となります。

そこで本町にとって魅力ある将来の町づくり、未来への投資ともいえる光ファイバーによるネットワークの基盤整備を町内全域に構築すべきと考えますが、どのようにお考えかお聞きします。

今後、当町で光ファイバーの導入にあたり、ADSL回線導入と同じように、光ファイバーの導入に向け、町も積極的に支援したいと考えております。

また、光ファイバーによるネットワークの基盤整備に向け、通信事業者に対し、早期実現を目指し誘致依頼活動等を積極的に取り組んでまいりたい。



一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。

質問、答弁の全文については、詳しくお知らせになりたい方は、町役場総務企画財政課までお問い合わせ下さい。

財政は

平成20年度 決算特別委員会報告

どうなってるの？

議会に報告

委員長 高島 讓二

平成二十年度の決算は、平成十九年度にて終了した国保病院の不良債務を一般会計に引き継ぐ事となり、債務の圧縮を図っていくことが命題でありましたが、当初の計画を上回る額の圧縮をすることができたと思います。

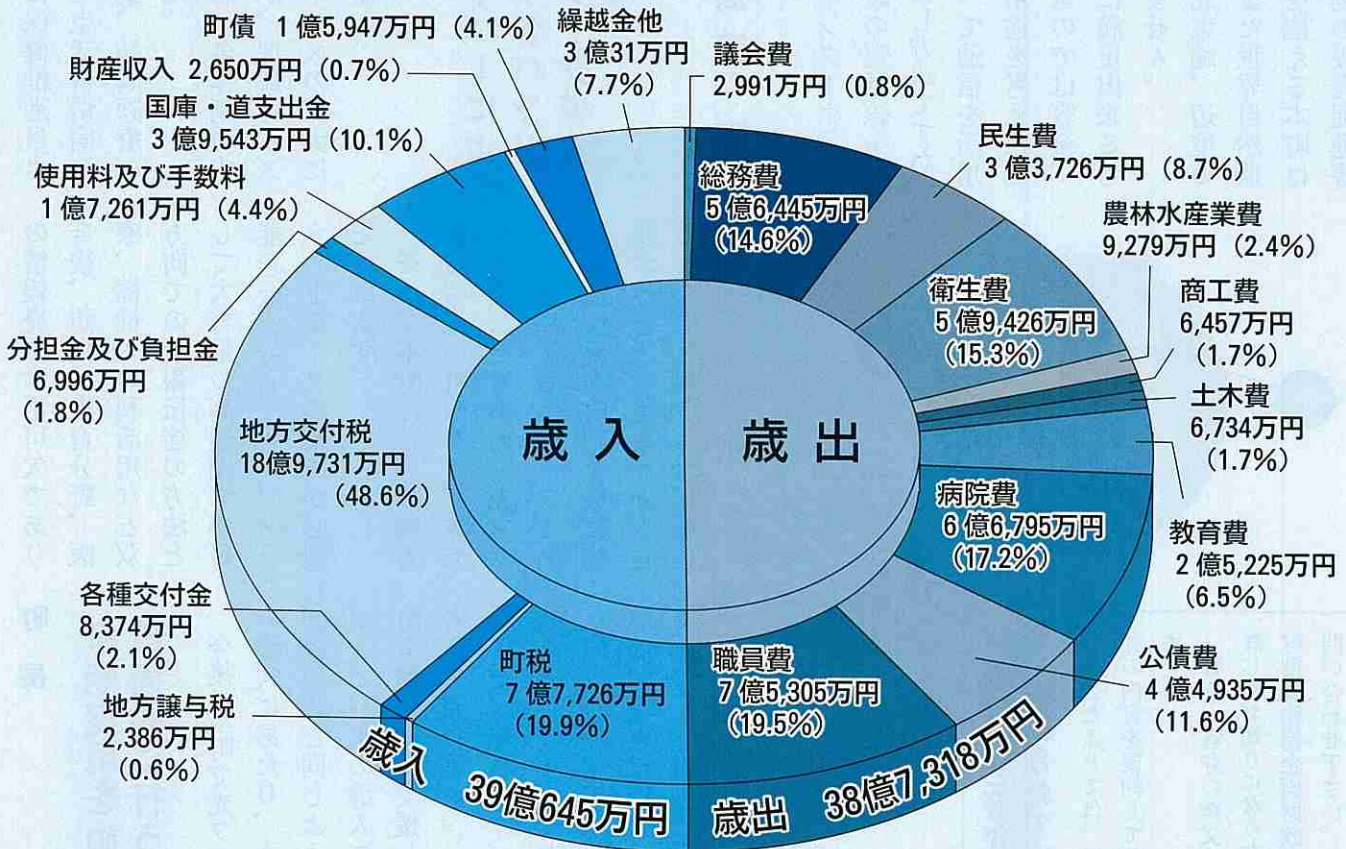
町税においては徴収努力と滞納整理機構への引継ぎなどの対策により収納率は伸びていますが、収入未済額が増加しており、更なる努力が望まれます。

併せて、税以外の使用料等においては一部に未収金の増加が見られ、今後の収納対応について、具体的な対策が望まれます。

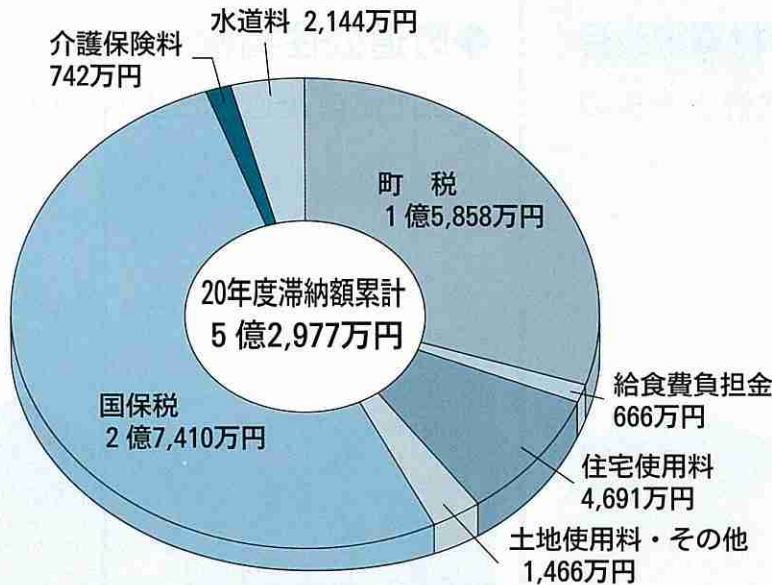
厳しい財政の中、最小限の経費で最大の効果を得られるよう、引き続き努力を願うものであります。一方で、住民には経費削減による各種サービスの低下を感じさせない行政運営の工夫も重要であり、不断の努力を望むところであります。

本委員会は全員一致で認定すべきものと決定しましたので、報告いたします。

(注) 各項目において端数整理をしているため合計と内訳が一致しないことがあります。



(歳入) 39億645万円 - (歳出) 38億7,318万円 = (差引残額) 3,327万円



20年度滞納額累計

平成20年度特別会計・企業会計決算

	事業名	歳入	歳出	差引額
特別会計	国民健康保険事業	12億2,627万円	11億8,727万円	3,900万円
	介護保険事業	3億1,248万円	2億8,505万円	2,743万円
	老人保健事業	5,646万円	5,588万円	58万円
	後期高齢者医療事業	4,524万円	4,466万円	58万円
	国民健康保険診療所事業	3億2,148万円	2億8,469万円	3,679万円
企業会計	水道事業	2億9,738万円	3億8,228万円	△8,490万円

審査の要点Q&A

〈歳入〉

Q 滞納者が多い。組勤なども必要と思うが話しているか。

A 平成十七年に納税貯金をやっているが難しい。組勤の話はしていない。

Q 固定資産税の未納の実態はどうか。

A 昔、親方、今、年金生活者等のケースもある。

Q 給食費の未納額の内容を知りたい。

A 現年度分一〇二万円、繰越五六三万円。随時、電話で督促している。

現在三ヶ月毎に連絡調整して現年度分の滞納を増やさないようにしたい。

Q 国保の不納欠損金、平成二十年度から減っている原因は何か。

A 平成十七・十八・十九年度の不納欠損は三ヶ年で整理した。

〈歳出〉

Q 庁舎の清掃管理は回数を減らして委託料を下げることは出来ないか。

A トイレの管理もあるので難しい。

Q 羅臼川水質委託料の内容

A 簡易浄化設備の維持費。

Q 商工振興費のリンケージアップ負担金は今後も続けるのか。

A 今後は飲食部分も充実させ、新たな展開も考えている。

Q 中高一貫教育の効果や成果は。

A 乗り入れ授業はないが、連携を持ってやっている。中学校の授業が高校につながるようになってきている。

Q 診療所の繰入金は当初の額よりも途中で三、五〇〇万円程繰り入れしている。主な原因は。

A 収入減を見込んでいたが、見込みが甘かった。

Q 平成二十年度予算において不用額が多い。平成二十二年予算に反映していきたい。

経済文教常任委員会町内視察

十一月十六日、経済文教常任委員会は町内四ヶ所の現地視察を行った。

◆自然とみどりの村導線改良

導線改良事業の状況と今後の施設活用計画



◆町道公住橋線

公住橋前後道路と排水口の補修



◆町営住宅補修

緑町3戸、栄町高台3戸の補修工事



◆葬斎場トイレ改修

男女の便座を洋式へ変更と改修



総括

経済文教常任委員会で、町道公住橋補修、自然とみどりの村導線改良、葬斎場トイレ改修、町営住宅補修等の視察を行った。

町道公住橋線については、道路補修に伴い、付随する橋りょうの補修が望まれる。

自然とみどりの村の導線改良は、改良効果を上げる為の利用方策が求められる。

葬斎場トイレの改修は冬期の利用に対する配慮が必要である。

町営住宅は町内六戸の補修を行ったが、補修の内容が中途半端な状況を感じた。改修後の公募においても入居希望者が無かったようであり、風呂の設置などの新たな対策が望まれる。

総括では、今後施設等の改修や補修には町民のニーズを的確に把握しながら行うべきであるとした。

総務民生常任委員会町内視察

十一月十七日、総務民生常任委員会は町内四ヶ所の現地視察を行った。

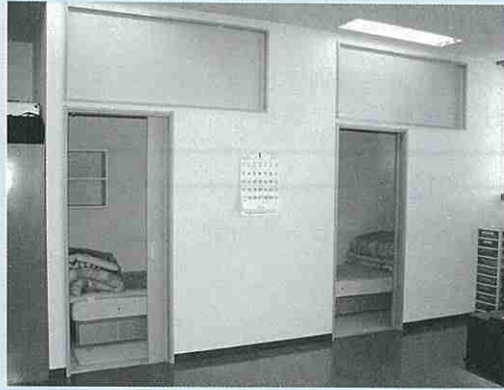
◆旧治山事業監督員詰所

1階一部バリアフリー化及び
トイレ・水廻り部改修



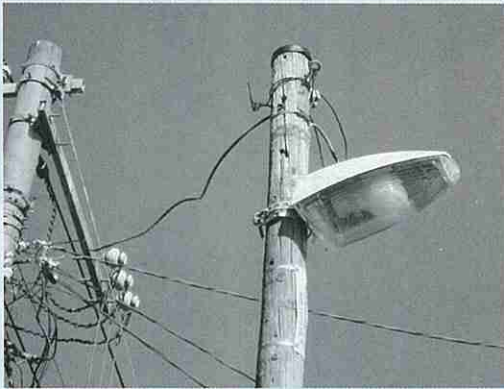
◆消防庁舎

2階内部仮眠室設置及び1階
車庫部トイレ設置



◆防犯灯整備事業

省エネ型外灯、エバーライト
への交換 70灯
町管理分 36灯
町内会管理分 34灯



◆旧知円別小中学校

一部解体及び避難施設・集会
場化



総括

総務民生常任委員会として、先の補正予算により執行された消防庁舎、旧治山事業監督員詰所、旧知円別小中学校、市街地防犯灯などの改修後の視察を行った。

消防庁舎などは使用目的、及びそれに対する工事内容等がよくマッチした内容となっているが、他の工事の一部に内容と目的が不明瞭な部分もみられ、今後、その施設の将来像や使用目的の明確化、又は行政としてのインシアチブを持ち、しっかりとした形でその施設の運営又は、役割などについて議論を重ねて行く必要があることを確認して、総括とした。

議会の動き

11月

- 16日 経済文教常任委員会町内行政視察
- 17日 総務民生常任委員会町内行政視察
- 19日 全員協議会
- 24日 全員協議会
羅臼町表彰式
- 25日 議会運営委員会
- 26日 中標津空港利用促進期成会臨時総会 副議長
- 27日 第4回 臨時会
第8回診療所建設調査特別委員会
- 30日 管内町村議長会臨時総会 議長

12月

- 1日 北方領土返還要求行進アピール行動 議長
- 10日 議会運営委員会
- 11日 経済文教常任委員会
- 14日 総務民生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 全員協議会
第4回 定例会
- 18日 行政懇談会 議長

1月

- 4日 消防出初式 議長
- 7日 議会だより編集特別委員会
羅臼町成人式
- 8日 羅臼救難所出初式・総会 議長
- 15日 議会だより編集特別委員会
- 18日 議会だより編集特別委員会
- 20日 行政課題に対する議員懇談会
- 29日 議会だより編集特別委員会

2月

- 1日 建設業協会新年交礼会 議長・経済文教委員長
全員協議会
- 4日 議会だより編集特別委員会
- 6日 植別小中学校閉校式典
- 7日 北方領土の日根室管内住民大会（根室市）
議長

平成二十二年が始まりました。新しい一年に希望がもてるような紙面づくりを心がけてまいります。
今の季節と同じように羅臼町も厳しい状況ですが、私達も議会改革を含め、さまざまな取り組みをしながら、町民の皆さんにわかりやすい議会を目指します。

湊屋



三年の町の永年の功績が認められまひた

旭日双光章

おめでとうございます



川上 昭一氏

この度、羅臼町議会議員の大先輩であります川上昭一氏が永年の功績が認められ、秋の叙勲において旭日双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。

北海道社会貢献賞

を受賞しました



田中 俊夫氏

十二月十一日に議員活動を通じ永年にわたる社会貢献が認められ、社会貢献賞が贈られました。おめでとうございます。

全国町村議会議長会 創立六十周年記念特別表彰



山下 崧氏

去る十一月十一日に永年にわたる議員としての地域社会発展のご尽力に対して全国町村議会議長会より特別表彰を授与されました。おめでとうございます。